



2024年3月25日

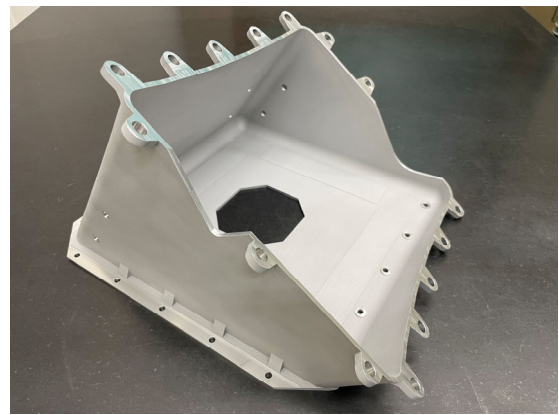
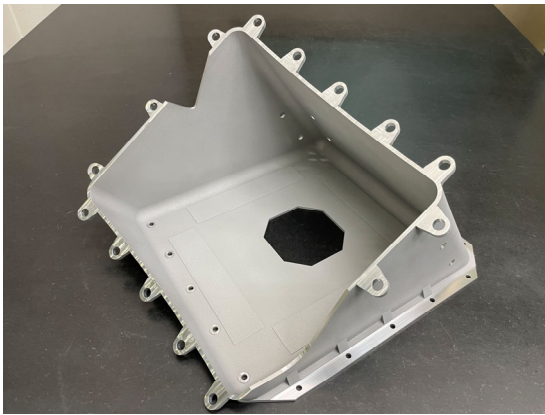
各位

日軽金アクト株式会社

日軽金アクト「人工衛星用ブラケット」をアルミ3D造形品で供給

日軽金アクト株式会社（代表取締役社長：伊藤嘉昭、本社：東京都港区）はこの度、「人工衛星用ブラケット」をアルミ3D造形品にて大手宇宙機メーカー様に供給いたしました。

アルミ3D造形はメリットとして製品形状の自由度があり、製品の軽量化・部品点数の削減等の効果が期待され、人工衛星用ブラケットにアルミ3D造形品が採用されました。今後の衛星打ち上げ市場は成長が見込まれており、今回の「人工衛星用ブラケット」の供給は、その市場への足掛かりとなることが期待されます。



日軽金アクト株式会社は、日本軽金属株式会社（代表取締役社長：岡本一郎、本社：東京都港区）および東洋アルミニウム株式会社（代表取締役社長：楠本薫、本社：大阪府大阪市）と共同で3D造形用の様々な材料開発を進めており、お客様のニーズに合った材料を提案し、「材料開発」、「製品3D造形」、「表面処理」、「接合等後加工」までトータルソリューションを提供する事で差別化を図ってまいります。

※「人工衛星用ブラケット」は、2024年4月24日(水)～26日(金)にて東京ビッグサイトで開催される宇宙ビジネスの展示会「SPEXA」に出展を予定しています。

以上

本件に関するお問い合わせ：

日軽金アクト株式会社 熱対策・3Dプロジェクト TEL：03-6810-7298